

ランサムウェア・ レジリエンス 2026

被害を最小化し事業を止めない
「すぐ復旧できる」盤石な体制づくり

2026年12月17日（木）開催予定

協賛企画書

DX勝者の選択



ランサムウェア対策は「侵入を防ぐ」だけではなく、 「早く気づき、被害を抑え、事業を戻す設計」へ

攻撃側の高速化に対し、単体製品の導入だけでは事業停止を回避できません。

01

攻撃側はAIと自動化で高速化

偵察・認証情報悪用・横展開が、より速く大規模に

02

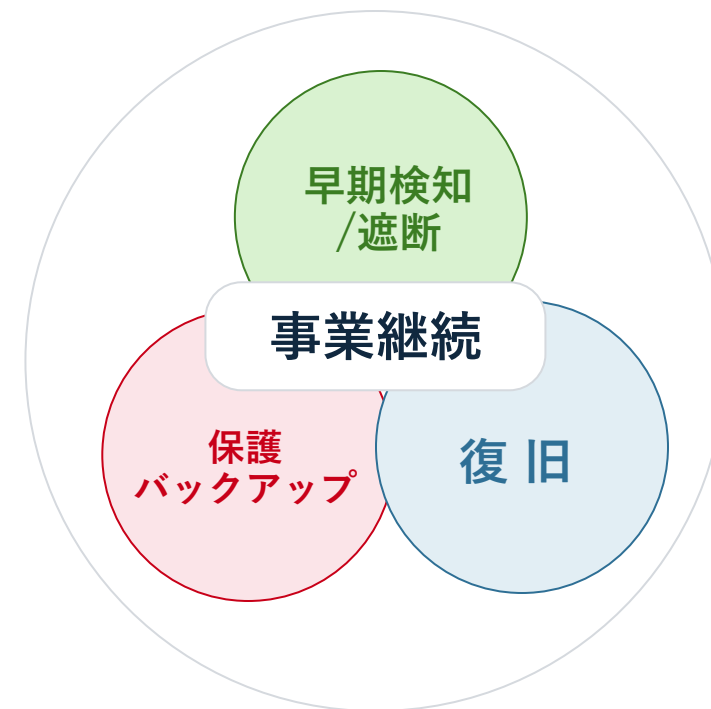
侵入防止だけでは事業停止を防げない

侵入を前提に早期検知/遮断/復旧まで備える

03

防御と復旧を一体で設計する

止める力と戻す力を、同じ戦略・運用でつなぐ



侵入を前提に、事業を戻す力が重要に

なぜすぐ復旧できないのか、ランサムウェア被害の実態と現実解を問う ～「守り切る」はもう限界！ 盤石なバックアップ&リカバリーで事業継続を図る～

警察庁の調べによると、身代金目的でデータを暗号化する「ランサムウェア」の2026年上半期の被害は過去最高の123件に達しました。全体の半数超が復旧までに1カ月以上を要し、全業務が停止した企業も9件に上ります。被害額も6割が1000万円を超え、数億～数十億円規模の事案も発生しています。警察庁が検知した不審なアクセス数は、2026年上半期は1日当たり約1万3700件と前年同期の1.5倍に増えています。企業にとってランサムウェア対策は、最優先の経営課題と言えるでしょう。

重要なのは、「侵入させない」一点張りからの脱却です。攻撃者は必ず突破してくることを前提に、被害を最小化し事業を止めないための“復旧力（レジリエンス）”を設計することが欠かせません。守り切るには限界があるからこそ、改ざんされないバックアップ、復旧の優先順位、短時間で切り戻す導線を用意し、「復旧できる状態」を平時から作り込む——これが現実的な対策の核心です。

そこで日経クロステック Activeは「なぜすぐ復旧できないのか、ランサムウェア被害の実態と現実解を問う」と題してオンラインセミナーを緊急開催します。オープニングセッションでは、元日経NETWORK編集長の山田剛良がランサムウェア被害の実態と現実解を提示。続くセッションでは、特に重要な早期検知、バックアップ&リカバリーに関連する各種ソリューションを紹介します。締めくくりには、セキュリティ専門家がランサムウェア攻撃を仕掛ける犯罪組織の実態や手口、今後強化すべき重点策を語ります。一刻の猶予もないランサムウェア対策。事業を止めない、「すぐ復旧できる」盤石な体制をどう構築するか。その具体策をつかめるセミナーです。

プロデューサー

池上 俊也



日経BP
技術プロダクツユニット
日経クロステック Active 編集委員

1991年に電子部品メーカーに入社し生産管理や管理会計、営業企画業務に従事。調査会社を経て1996年から出版社にてPC流通誌やIT技術誌の記者・編集者として活動。2003年に日経BP入社。日経ITプロフェッショナル、日経SYSTEMS、日経BPシステム運用ナレッジ、日経コンピュータ、日経クロステックに記者・副編集長として在籍。プロデューサーとしてITインフラSummitやITモダナイゼーションSummit等を立ち上げた。クライアント向けセミナーやイベントの企画支援多数。著者に『教科書には書いていないプロマネ技術』（日経BP）がある。現在は日経クロステック Active 編集委員。

開催概要

ランサムウェア・レジリエンス 2026

開催 2026年12月17日（木）開催予定

形式 オンラインセミナー（Live配信）

主催 日経クロステック Active

受講料 無料（事前登録制）

主な参加対象

- 経営層・CIO・CISO
- IT企画・開発・構築・運用部門
- セキュリティ・SOC部門
- リスク管理・BCP部門
- Sler・ITサービス事業者 など

対象ソリューション

早期検知・被害拡大防止、インシデント対応、バックアップ、DR・復旧、データ保護、BCP・危機管理、緊急時コミュニケーション、AI活用型運用 など

事前登録

400名登録

想定

プログラムイメージ

全講演30分、各講演間5分休憩。オープニングセッションと特別講演で、最大6つのスポンサー講演を挟みます。

13:00–13:30	KEYNOTE	オープニングセッション なぜすぐ復旧できないのか、ランサムウェア被害の実態と現実解を問う
13:35–14:05	SPONSOR 1	スポンサー講演
14:10–14:40	SPONSOR 2	スポンサー講演
14:45–15:15	SPONSOR 3	スポンサー講演
15:20–15:50	SPONSOR 4	スポンサー講演
15:55–16:25	SPONSOR 5	スポンサー講演
16:30–17:00	SPONSOR 6	スポンサー講演
17:05–17:35	SPECIAL	特別講演 ランサムウェア攻撃を仕掛ける犯罪組織の実態や手口、今後強化すべき重点策

協賛メニュー

オンラインセミナー（Live配信）

- スポンサー講演：30分（1枠） 250–300名程度の視聴を想定
- 受講登録者リスト：セミナー登録者リストをご提供（想定提供数：400名程度）
※告知開始後にご協賛を決定された場合は、パーミッション文に社名を明示した時点以降の登録者が対象です。
※リード提供はセミナー終了後、約5日を予定しています。
- 配信サイト上での貴社ロゴ掲出
- 配信時の貴社講演資料等のダウンロード（任意、2点まで）
- 個別アンケートの実施（任意）※運営ルールに基づき、別途事務局よりご案内
※アンケート回答にインセンティブを付与することで、アンケート回答率を高めます。
- 受講登録時の個別パーミッション表示対応（任意）※詳細は別途事務局と調整

ご協賛料金：**300万円**（税別）

スケジュール（予定）

協賛決定からリード提供まで、約2か月の進行を想定しています。



協賛枠が埋まり次第、締め切りとさせていただきます。

参考資料

緊急開催！ランサムウェア対策
甚大な被害が続くランサムウェア攻撃、
今まさに打つべき万全な対策とは？

緊急開催！ランサムウェア対策 甚大な被害が続くランサムウェア攻撃、 今まさに打つべき万全な対策とは？

【開催概要】

日 時 2025年12月16日(火) 13:00～18:15

開催形式 オンライン

主 催 日経クロステック Active

協 賛 網屋、arcserve Japan、クラウドストライク、サイバーリーズン、
丸紅情報システムズ、ラビッドセブン・ジャパン、Rubrik Japan、
高千穂交易、ゼットスケイラー(ABC順)

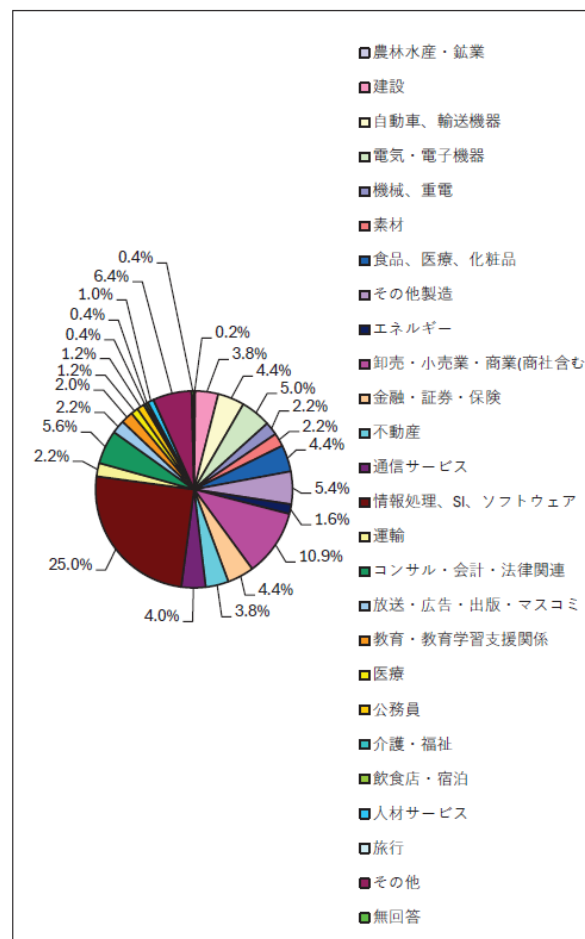
受講料 無料

視聴者 503名(事前登録者:695名)

業種

	件数	%
農林水産・鉱業	1	0.2%
建設	19	3.8%
自動車・輸送機器	22	4.4%
電気・電子機器	25	5.0%
機械・重電	11	2.2%
素材	11	2.2%
食品・医療・化粧品	22	4.4%
その他製造	27	5.4%
エネルギー	8	1.6%
卸売・小売業・商業(商社含む)	55	10.9%
金融・証券・保険	22	4.4%
不動産	19	3.8%
通信サービス	20	4.0%
情報処理、SI、ソフトウェア	126	25.0%
運輸	11	2.2%
コンサル・会計・法律関連	28	5.6%
放送・広告・出版・マスコミ	11	2.2%
教育・教育学習支援関係	10	2.0%
医療	6	1.2%
公務員	6	1.2%
介護・福祉	2	0.4%
飲食店・宿泊	2	0.4%
人材サービス	5	1.0%
旅行	0	0.0%
その他	32	6.4%
無回答	2	0.4%
合計	503	

(N= 503)

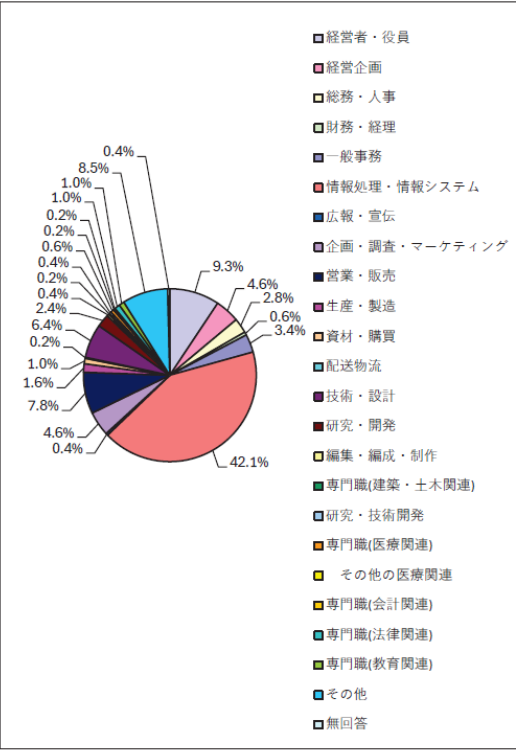


参考資料

職種

	件数	%
経営者・役員	47	9.3%
経営企画	23	4.6%
総務・人事	14	2.8%
財務・経理	3	0.6%
一般事務	17	3.4%
情報処理・情報システム	212	42.1%
広報・宣伝	2	0.4%
企画・調査・マーケティング	23	4.6%
営業・販売	39	7.8%
生産・製造	8	1.6%
資材・購買	5	1.0%
配送物流	1	0.2%
技術・設計	32	6.4%
研究・開発	12	2.4%
編集・編成・制作	2	0.4%
専門職(建築・土木関連)	1	0.2%
研究・技術開発	2	0.4%
専門職(医療関連)	3	0.6%
その他の医療関連	1	0.2%
専門職(会計関連)	1	0.2%
専門職(法律関連)	5	1.0%
専門職(教育関連)	5	1.0%
その他	43	8.5%
無回答	2	0.4%
合計	503	

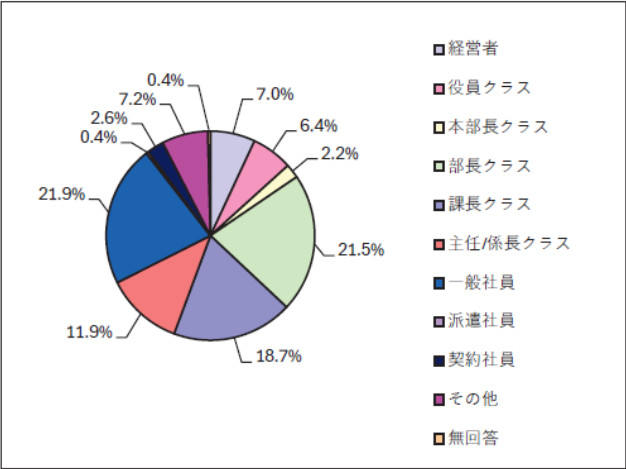
(N= 503)



役職

	件数	%
経営者	35	7.0%
役員クラス	32	6.4%
本部長クラス	11	2.2%
部長クラス	108	21.5%
課長クラス	94	18.7%
主任/係長クラス	60	11.9%
一般社員	110	21.9%
派遣社員	2	0.4%
契約社員	13	2.6%
その他	36	7.2%
無回答	2	0.4%
合計	503	

(N= 503)

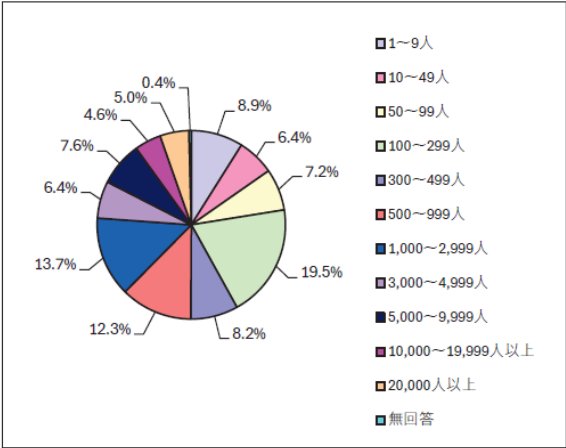


参考資料

お勤め先従業員規模

	件数	%
1～9人	45	8.9%
10～49人	32	6.4%
50～99人	36	7.2%
100～299人	98	19.5%
300～499人	41	8.2%
500～999人	62	12.3%
1,000～2,999人	69	13.7%
3,000～4,999人	32	6.4%
5,000～9,999人	38	7.6%
10,000～19,999人以上	23	4.6%
20,000人以上	25	5.0%
無回答	2	0.4%
合計	503	

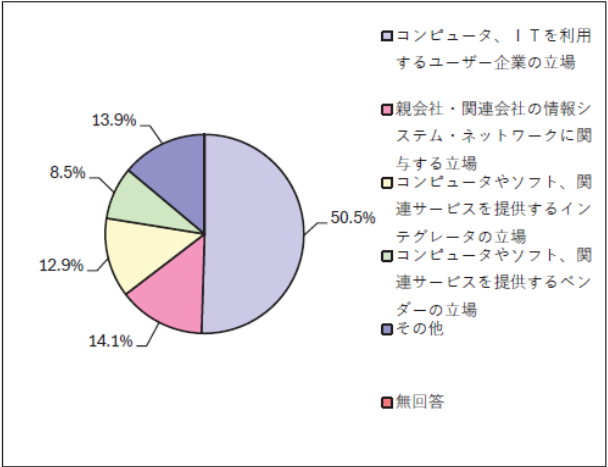
(N= 503)



立場

	件数	%
コンピュータ、ITを利用するユーザー企業の立場	254	50.5%
親会社・関連会社の情報システム・ネットワークに関する立場	71	14.1%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するインテグレータの立場	65	12.9%
コンピュータやソフト、関連サービスを提供するベンダーの立場	43	8.5%
その他	70	13.9%
無回答	0	0.0%
合計	503	

(N= 503)



協賛に関するお問い合わせ

貴社ソリューションに最適な
ポジションをご提案します

日経BP

アカウントビジネス部

active-ad@nikkeibp.co.jp

提供する顧客情報は、本企画に関連する貴社製品・サービスのご案内に限ってご利用ください。
個人情報保護法等に基づき、貴社の責任において管理・運用をお願いします。